

◆店頭に、肉まんのはいったケースから湯気のあがっているのを見ると、冬になるなと思います。つい、食欲も出てきたりして……関西の方は「クマノ」と言うのですが少しは辛かしいので「肉まん」と私は呼びます。

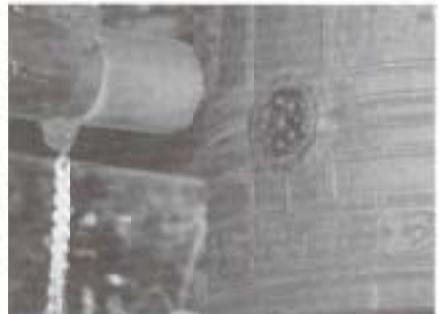
◆学生時代新京橋の「味のデパート」で、ぬくぬくの肉まん（豚まんだったかしら？）を買って、中央公園あたりで食べました。今のように久保田やヤマトで、冷凍の肉まんなどはない時代でした。

◆また学生の頃、学路通りに買つて帰つては、母に「ほんとだから後になさい」と言われ、本当にしなさい」と言われました。今まで中華まんの季節がやつてしましました、「中華まん」といふて、塾の帰りに、みんなで近くのお店に寄つてよく食べましたよ！冬は肉まん食べるのに、塾に行つたようなものでした。

思
い
出
が
い
っ
ぱ
い

お待ちしています。
お問い合わせください。
1月13日(土)必着
■あて先 〒783 南国市大
塙甲二三〇一 南国市企画課
親子クイズ係
■賞品 正解者の中から抽選で
5人の方に国書券を進呈
◎第27回親子クイズの答えは、
肉まん(中華まん)でした。
第27回当選者発表(敬称略)
栗田寅太郎 (大塙)
西岡美加 (緑ヶ丘)
池本知世 (花原)
山田 薫 (稻生)
中山恵津子 (上末松)

これは何でしょう



親子クイズ



手づくり人形サークル団を紹介します。

大塙にあるアトリエで、メンバー16人が週1回人形作りをしています。指導している池知操さんによると、人形作りはかなり細かく、根気のいる作業。満足いく作品ができるまで、個人差はあるものの、2年くらいかかるそうです。

恒例となっている郵便局での展示会では、作品を譲って欲しいと頼まれることもしばしばあり、なかなかの好評。

アトリエに集まるメンバーは、みんな人形が好きな人ばかりで市内ののみならず、遠くは佐川町から来ている人も。今年7月から始めた野市町の細井さん、葛目さんによると「先生が丁寧に教えてくれるので張り合があります。他の人といろんな話もできるし、週1回が待ち遠しいですね」とのこと。アトリエは作業場の他に井戸端会議場にもなっているようです。



▼観客席も一体となって、すばらしい舞台発表が行われました。合唱コンクールの結果発表では最優秀賞のクラスから歓声が上がり、生徒たちの真剣な取り組みをかいだましたようでした。



準備の時間が十分になかつたにもかかわらず、各クラスの展示はかなりのできばえ。



休日も多くの生徒が準備に來ていたそうです。

盛大に文化祭

芸術の秋 文化の秋

十一月は文化祭のシーズン、市内の各学校でも、工夫を凝らした文化祭が盛大に行われたことでしょう。香南中学校では十三日に「革新」をテーマにして、恐竜の世界、古代エジプト、また、阿蘇山についてなどの研究発表をしたり、文化部の発表や、全クラスが参加しての合唱コンクールがあつたり、秋の一日、みんなが団結して、すばらしい文化祭となりました。



▲1年から3年まで、すべてのクラスが参加して行われた合唱コンクール。休み時間や放課後のわずかな練習時間にもかかわらず、各クラスみごとな団結力ですばらしい歌声を披露してくれました。



査員、熱心に歌う生徒たちを審査する目は、自然と真剣なものになります。

clubクラブ



大湊小 科学クラブ

「楽しい物作りを通して、子どもたちに少しでも科学に興味を持ってほしい。そうすれば、自然の法則などが身について、世界が広がるのでは……」と言う松木由貴美先生の指導のもと、現在13人のメンバーで活動中。中には続けて2年目という部員もいて、にぎやかで楽しそうな様子。

おじやました日は、ビー玉を使った万華鏡作りにチャレンジ。材料を手に取り組む姿は真剣そのもの。手作りの万華鏡をのぞいた部員たちは、「難しかったけど面白い、きれい」と、ビー玉と鏡が作る不思議な模様に歓声を上げていました。

この科学クラブ、他にもドライアイスとジュースを使ってシャーベットを作ったり、洗濯のりなどからスライムを作る実験など、楽しい実験を行う予定です。